

# 一般社団法人日本解剖学会 2024 (令和6) 年度第5回常務理事会議事録

日 時：2024(令和6)年12月21日(土) 10:30～13:30

場 所：AP新橋（5階Mルーム）

出席者：寺田 純雄（理事長）、大和田 祐二、尾崎 紀之、仲嶋 一範、福田 孝一（以上、常務理事）、市村 浩一郎、竹林 浩秀（以上、常任幹事）、伊藤 杏佳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

欠席者：大野 伸彦（常任幹事）

## I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- ・ 2024 (令和6)年度第4回常務理事会（2024(令和6)年9月21日開催）議事録（案）

## II. 報告事項

### 1. 庶務報告

#### (1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

- ・ 令和 6年 9月分  
入会者 正会員 6名、学生 9名  
退会者 正会員 3名
- ・ 令和 6年10月分  
入会者 正会員 4名、学生 47名  
退会者 正会員 1名
- ・ 令和 6年11月分  
入会者 正会員 5名、学生 13名  
退会者 正会員 2名、永年 2名、名誉 1名
- ・ 逝去会員（3名）  
永田 哲士 氏（信州大・名誉教授／名誉会員）令和6年1月27日逝去（満92歳）  
飯野 晃啓 氏（鳥取大・名誉教授／永年会員）令和6年10月12日逝去（満86歳）  
和氣 健二郎 氏（東京科学大・名誉教授／永年会員）令和6年10月21日逝去（満92歳）
- ・ 解剖学教育専任教授新規就任者（4名）  
水嶋 崇一郎 氏（聖マリアンナ医大・解剖学・教授 令和6年4月1日就任）  
西井 清雅 氏（防衛医大・解剖学・教授 令和6年4月1日就任）  
桐生 寿美子 氏（名古屋大・医・機能形態学・機能組織学・教授 令和6年11月1日就任）  
小西 博之 氏（山口大・医・神経解剖学・教授 令和6年12月1日就任）

#### (2) 学会宛文書類について

資料に基づき、学会事務局で保管、ホームページ掲載などの対応を行っていることが報告された。

- ・ 通知、依頼：日本医学会より「献血血液の研究開発等への使用に関する公募の実施について」他73件
- ・ 書籍、定期通信 他：内藤記念科学振興財団より「内藤財団時報Vol.114」他13件

#### (3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会第22期第3回運営委員会（2024年8月30日開催）の議事内容が報告された。

(4) 2024 (令和6)年度申請による代議員申請状況について  
資料に基づき、10名の申請があったことが報告された。

(5) 支部代議員会報告

資料に基づき、下記の支部代議員会の議事内容が報告された。

- ・ 第70回東北・北海道連合支部代議員会 (2024年9月8日開催、秋田大学医学部本道キャンパス)
- ・ 第112回関東支部代議員会 (2024年12月1日開催、日本大学医学部キャンパス)
- ・ 第84回中部支代議員会 (2024年10月5日開催、名古屋市立大学医学部・医学研究科研究棟)
- ・ 第78回中国・四国支部代議員会 (2024年10月19日開催、山口大学吉田キャンパス)

(6) 次期役員選出選挙報告

資料に基づき、2025・2026 (令和7・8) 年度役員選出選挙の開票結果が報告された。中国・四国支部から選出された2名の理事のうち1名が一身上の都合により理事の就任を辞退したため、次点の1名が繰上げ当選となった。

(7) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) Anatomical Science International (ASI) について

資料に基づき、インパクトファクター (2023) について報告があった。また、現在進行している特集号の状況について報告された。

(2) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2024 (令和6)年度奨励賞について

資料に基づき、5名の応募があったことが報告された。また、選考委員会 (12月18日開催) において、以下の2名を受賞者としたことが報告された。

- ・ 山崎 礼二 氏 (自治医科大学 医学部 解剖学講座組織学部門)
- ・ 表原 拓也 氏 (順天堂大学 医学部 解剖学・生体構造科学講座)

(2) 一級ならびに二級認定技術者審査結果について

資料に基づき、一級技術者1名の試験合格、二級技術者7名の資格審査合格の判定結果が報告された。

(3) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、第130回総会・全国学術集会 (会頭：渡辺雅彦氏、会期：2025年3月17日～19日) はAPPW2025として開催されることが報告された。また、プレナリーレクチャー、特別講演の演者、日程表、演題数などの概要が報告された。

(4) 2026(令和8)年度第131回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、第131回総会・全国学術集会 (会頭：岡部正隆氏、会期：2026年3月24日～26日) の

準備状況（会場が決定したことなど）が報告された。

(5) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、以下の報告があった。

- ・ 第8回研究倫理教育研修会（2024年5月7日、北田倫理委員会委員出席）、日本医学会連合2024年度定時社員総会（2024年6月14日開催、大和田常務理事出席）の議事内容について。
- ・ 厚生労働省医政局長より日本医学会を介して、医道審議会死体解剖資格審査分科会臨時委員の推薦依頼があり、野田泰子氏（自治医科大学）と渡辺雅彦氏（北海道大学大学院医学研究院）を引き続き次期委員として推薦した。
- ・ 第4回日本医学会連合Rising Starリトリート（2025年5月29日～30日開催予定）には日本解剖学会から以下の3名の参加を推薦した。
  - ・ 竹田 育子 氏（名古屋大学大学院医学系研究科 機能形態学講座 分子細胞学）
  - ・ 井原 大 氏（滋賀医科大学 解剖学講座 神経形態学部門）
  - ・ 堀江 沙和 氏（防衛医科大学校 解剖学講座）

(6) 生物科学学会連合（生科連）報告

資料に基づき、生科連第29回定例会議（2024年4月25日、大和田常務理事出席）、「科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書」についてのオンライン意見交換会（2024年6月4日開催、大和田常務理事出席）の議事が報告された。

「博士人材活用プラン～博士をとろう～」の文部科学省方針や雇い止め問題のアンケートを受けた提言（案）に対する解剖学会としての意見を生科連に提出したことも報告された。

(7) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、生科連から発出される「科学研究費助成事業の全体額増加に関する要望書」への日本脳科学関連学会連合としての対応について報告された。

(8) 若手研究者の会について

資料に基づき、解剖セミナー旅費支援事業の本年度の実績、APPW2025における企画（若手育成委員会との合同シンポジウム、若手会員と大学等研究室や製薬企業等とのマッチングイベント、ランチョンセミナー「Meet the Professor」、若手と学生の研究交流会）、解剖学雑誌99巻2号での活動報告、Web交流会（11月20日開催）について報告された。

(9) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）

資料に基づき、以下の報告があった。

- ・ KAA（韓国解剖学会）：  
次回の相互交流はJAA-KAA国際交流協定に基づき、2025年となり、JAA（日本解剖学会）からKAAへの派遣年となる。
- ・ APICA（アジアパシフィック国際解剖学会議）：  
APICA2025会頭のZhou教授（北京大学）から、Advisory Boardへの就任に関する打診があり、JAAから寺田理事長、大和田常務理事、竹林常任幹事の3名で対応することとなった。また、APICA2027の日本での開催の可否について検討されていることも報告された。
- ・ IFAA（国際解剖学会議）：  
第21回IFAA（2024年9月5日～8日開催、韓国）の開催概要が報告された。また、JAAからシンポジストと

して下記の2名を派遣し、交通費・宿泊費を全額補助したことも報告された。

- ・ 芝田 晋介 氏（新潟大学大学院医歯学総合研究科 組織学分野）
- ・ 横田 睦美 氏（順天堂大学 医学部 神経生物学・形態学講座）

JAAのIFAA復帰については、今後のIFAAの動向を注視しながら議論を継続する必要があること、また、復帰要請を受けたIFAA理事長のHelen Nicolson氏に対して時間をかけて協議を継続する意向を伝えたことが報告された。

#### (10) 日本外科学会CST推進委員会

資料に基づき、日本外科学会CST推進委員会から「篤志献体制度についての新聞紙上での座談会」を日本解剖学会と共催したいとの申し出があったことが報告された。医療機器開発へのご遺体利用促進がその目的の一つとなっていたが、この点については解剖学会内部でも様々な意見があり、献体登録者への十分な説明とそれに基づく同意の取得も未だ十分ではない状況にあること、また本座談会にかかる費用は企業の支援に基づくことを前提としていたため、解剖学会としては現時点での共催には賛同できない旨、返答したことも報告された。

#### (11) その他

特になし。

### 4. 会計報告

#### (1) 支部学術集会決算について

資料に基づき、以下の支部学術集会の収支が報告された。

- ・ 第70回東北・北海道支部連合学術集会（2024年9月7日～8日開催、秋田大学医学部本道キャンパス）
- ・ 第112回関東支部学術集会（2024年12月1日開催、日本大学医学部キャンパス）
- ・ 第84回中部支部学術集会（2024年10月5日～6日開催、名古屋市立大学医学部・医学研究科研究棟）
- ・ 第100回近畿支部学術集会（2024年11月16日開催、大阪大学銀杏会館）
- ・ 第78回中国・四国支部学術集会（2024年10月19日～20日開催、山口大学吉田キャンパス）

#### (2) 2024（令和6）年度中間決算書について

資料に基づき、2024年度中間決算では、IFAA2024への派遣による海外交流関係費の増加などはあるが、本会計、特別会計ともに、ほぼ例年通りであることが報告された。

#### (3) その他

特になし。

### 5. 理事長報告

#### (1) CST事業の法人設立準備委員会報告

資料に基づき、CSTの要望の高まりによる、CST事業の一般社団法人化に向けての現状について報告された。また、AMEDの「医療機器等の開発・実用化促進のためのガイドライン策定事業」の現状について、ガイダンス作成の最終段階であることが報告され、意見交換があった。

#### (2) その他

特になし。

## III. 審議事項

### 1. 休会申請について

資料に基づき、1件の申請が認められた。

2. 教授就任による代議員の承認について  
資料に基づき、2件の申請が認められた。

3. 名誉会員・永年会員の推薦について  
資料に基づき、名誉会員は該当者なしであること、永年会員については23名が対象であることが承認された。

4. 2024(令和6)年度認定技術者功労賞について  
資料に基づき、2件の申請について理事会で投票の上、社員総会にて報告することが承認された。

5. 2025年度解剖学雑誌・ASI発送方法ならびにASI電子化について  
資料に基づき、特約ゆうメールの取り扱いが2025年3月で停止になる制度変更と、2025年度以降のシュプリンガー・ジャパンの出版契約条件について説明がなされた。その結果、2025年はASIを冊子体として発行し、2026年以降は紙媒体を廃止して完全電子化にすることについて審議を行い、了承された。

6. 終身会費の全国学術集會会費充当について  
資料に基づき、終身会費を財源に若手会員（対象：全国学術集會前年4月1日時点で39歳未満の会員）について5,000円の補助を行うことが審議された。仙台大会、沖縄大会の実績からの試算では補助費用は60万円であり、この額を特別会計から支出することを理事会にて諮ることとなった。

7. 2025(令和7)年度事業計画案について  
資料に基づき、2025(令和7)年度事業計画は、ほぼ例年通りであることが説明された。例年と異なる点として、新法人設立が予定されているCST事業への対応も盛り込むことが確認された。

8. 2025(令和7)年度仮予算書案、ならびに事務委託契約について  
資料に基づき、2025(令和7)年度仮予算書案について承認された。インボイス制度の開始などによる業務量の増加があり、事務委託をしている一般財団法人口腔保険協会から事務委託経費の増額の依頼があった。これまで請求されていなかった法人学会加算事務費について、令和7、8年度は半額の25,000円＋消費税/月、令和9年度以降は満額50,000円＋消費税/月が請求されることによる事務委託費の増額が承認された。

9. その他  
特になし。

次回の常務理事会および理事会は下記の通りとなった。

日時 2025(令和7)年1月26日(日) 10:30～13:30(常務理事会)、14:00～17:00(理事会)

会場 AP新橋(5階：ルームJ) ※ハイブリッド形式で実施